

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	たきぐちまこと 滝口 真	所属・職名	健康福祉学部・社会福祉学科・教授
専門領域	ソーシャルワーク、 社会福祉思想・価値、 障害者福祉、福祉レクリエーション援助	学位称号	教育学修士. 1992 (平4)
最終学歴	2006 (平 18) 関西学院大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻 (博士課程) 単位取得満期退学		
資格・免許等	養護学校教諭専修免許状、福祉レクリエーション・ワーカー A37345		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	(大学院) 特別研究 (修士論文指導)、社会福祉援助技術特論、社会福祉実施研究、健康福祉総合演習B (学 部) 相談援助の基盤と専門職Ⅰ、相談援助の基盤と専門職Ⅱ、障害者福祉論、就労支援サービス、ソーシャルワーク特論、社会福祉援助技術演習Ⅱ、相談援助演習Ⅳ、相談援助演習Ⅴ、地域保健福祉医療連携論、社会福祉援助技術現場実習、総合ゼミナールⅢ、福祉レクリエーション援助技術、		
教育方法の実践例 教材の開発 教育改善活動等	<p>1. 教育方法の実践例</p> <p>(1) 最新のソーシャルワークに関する学会発表のデータなどを取り入れ、パワーポイントを用いて視覚的に授業内容に活用した。</p> <p>(2) 神崎市社会福祉協議会付設のデイサービスセンターにおけるソーシャル・グループワーク及び福祉レクリエーション活動を企画立案し、ゼミナール学生を引率したうえで実践援助を展開した。</p> <p>(3) 福祉・介護用具機器を用いた要介護者擬似体験及び福祉実践授業の展開を行い、福祉サービス当事者からの課題や問題点について自己認識させ、それらの福祉的対策法について検討を試みた。</p> <p>(4) ソーシャルワークにおける対人援助に関して個別援助目標シートを活用し、クライアントの生活歴を重視した生活モデルアプローチの手法を導入した。また、個別援助設定を具現化するために個別援助計画を福祉サービス利用者の生活状況に着眼しつつ、段階的にアプローチを実施するソーシャルワークの介入要点について詳細な解説を試みた。</p> <p>(5) クライアントの生活支援を推論するためのソーシャルスキルトレーニングにおいて個別に聴取した全国 50ヶ所のケーススタディを用いた。特にソーシャルワーク過程における成功事例と不成功事例の相違検討から多角的に事例分析を活用し実施した。特にストレングス視点への強化を実施した。</p> <p>(6) 科学研究費補助金研究チーム会議に大学院生を参画させ、研究視角、研究枠組、研究方法に関してソーシャルワークの視点から教授法の工夫を試みた。主として、ソーシャルワークスキルにおいては、Middleman,R.R.&Wood,G.G. (1990) と Germain,C.B.&Gitterman,A. (1996) の①特徴的理論基盤、②接近法、③視点、④スキルの位置に着眼して教育法及び研究法への援用を試みた。</p> <p>(7) 社会福祉援助技術演習Ⅱにおいて地域の高齢者の方を大学に招いて学生が企画した福祉レクリエーション援助を実践した。大学付設の健康福祉実践センターで行われる「チャレンジ幸齢セミナー」において学生と高齢者がマンツーマンで援助実践をともし交流を深めた。新たな援助技法開発への基礎的資料を得ることができた。</p> <p>(8) 大学付設の健康福祉実践センター並びに社会福祉学科が主催する「にこにこふれ愛デイ」委員リーダーとして、地域の高齢者、健康福祉実践センターを利用されている知的障がい者、身体障がい者等との交流会を企画・運営した。神埼キャンパス内の社会福祉学科、健康栄養学科、リハビリテーション学科と内容を調整、検討しながら学生の援助技術の修得に資するよう検討を行った。</p> <p>2. 教材の開発</p> <p>(1) 『社会福祉学』 共著 学文社 2007年4月</p> <p>(2) 『高齢者施設用語事典』 共著 中央法規出版 2007年4月</p>		

- (3) 「平成 19 年度 社会福祉士全国統一模擬試験出題と解説」 共同
(社) 社会福祉士養成校協会 2007 年 11 月
- (4) 「A-PIE プロセスを使用した個別プログラムの作成」 共著
大阪府レクリエーション協会課程認定校連絡会「福祉領域研修会 報告書」
2008 年 3 月
- (5) 『変わりゆく日本のスポーツ』 共著 世界思想社 2008 年 3 月
- (6) 『障害あのある人の支援と社会福祉』 共著 ミネルヴァ書房 2008 年 3 月
- (7) 「ソーシャルワーク実践事例の多角的分析による固有性の可視化と存在価値の実証
研究」 共著 平成 17 年度～平成 19 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））
研究報告書（課題番号：17530420） 2008 年 3 月
- (8) 『社会福祉と内発的発展—高田真治の思想から学ぶ—』 共著
関西学院大学出版会 2008 年 4 月
- (9) 新社会福祉講座『社会福祉の発見』 共著 あいり出版 2009 年 2 月
- (10) 『福祉小六法（2009 年版）』 共著 みらい 2009 年 3 月
- (11) 「キリスト教社会福祉の独自性と使命—学会員意識調査報告書—」 共著
日本キリスト教社会福祉学会調査研究委員会，2009 年 3 月
- (12) 「地域福祉活動計画策定マニュアル」 編著 佐賀県社会福祉協議会
2009 年 3 月
- (13) 「福祉教育からふくしの学びへ—平成 20 年度福祉学習支援プログラム
『ふくしの学び』研究会報告書」 編著 平成 20 年度福祉学習支援プログラム
「ふくしの学び」研究会 佐賀県社会福祉協議会 2009 年 3 月
- (14) 「ひとり親家庭等総合支援計画」 監修 佐賀市教育委員会こども教育部こども課
2009 年 3 月
- (15) 「平成 21 年度ひとり親家庭くらしのハンドブック」 監修 佐賀市教育委員会
2009 年 4 月
- (16) 「社会福祉相談援助演習の課題と展望」 共著 社会福祉教育年報第 2 集
（2008 年度）（社）日本社会福祉教育学校連盟 2009 年 5 月
- (17) 「佐賀県における高齢者虐待防止に関する調査報告書」 共著
高齢者虐待防止ネットワークさが 2009 年 7 月
- (18) 「佐賀県における民生委員・児童委員の高齢者虐待防止に関する調査報告
書」 単著 高齢者虐待防止ネットワークさが 2009 年 7 月
- (19) 『社会福祉の理論と制度』 共著 勁草書房 2010 年 1 月
- (20) 『福祉小六法（2010 年版）』 共著 みらい 2010 年 3 月
- (21) 新・福祉文化シリーズ 2 『アクティビティ実践と QOL の向上』 共著
明石出版 2010 年 3 月
- (22) ソーシャルワーカー教育シリーズ第 1 巻 『ソーシャルワークの基盤と専門職』
共著 みらい 2010 年 3 月
- (23) 「平成 21 年度子育てサークル活動者研修事業報告書」 共著
(財) 児童育成協会 こどもの城企画研修部 2010 年 3 月
- (24) 『障害者福祉論—障害者に対する支援と障害者自立支援制度—』 編著
法律文化社 2010 年 5 月
- (25) 『高齢者虐待を防げ—家庭・施設・地域での取り組み—』 監修・共著
法律文化社 2011 年 9 月
- (26) 「平成 23 年度社会福祉士全国統一模擬試験」（出題と解答・解説），
(社) 日本社会福祉士養成校協会，中央法規出版，2011 年。

3. 教育改善活動

- (1) 本学企画委員会 FD 委員会による「学生による授業評価」から得られた学生の意識を参考として、肯定的意見と否定的意見を参考として授業内容の改善を積極的に努めた。また、学生からの改善を求める内容については、各学年の講義で公表し、具体的な改善策について学生への説明を行った。
- (2) 授業以外の時間帯、放課後、オフィスアワーなどの時間を有効に利用して、学生の授業内容の質問及び国家試験受験や就職に関する相談・質問に対して個別指導を計画的に実施し助言・指導を綿密に行った。
- (3) 佐賀県内外の福祉施設と連携し学生の社会福祉援助技術現場実習後のフォローア

	<p>ップとして関連する福祉機関・福祉施設への任意実習を実施した。この試みは、現場実習後の専門職への自己認識向上に効果があった。加えて、就職前インターンシップの意味合いも含め、職種における希望自己と現実自己のズレ認識及び就職後の離職予防策としても効果的であった。</p> <p>(4) 社会福祉士国家試験受験対策として、社会福祉専門科目において過去の出題及び模擬問題等を講義に積極的に取り入れ、1年生の段階から国家資格取得へのモチベーションを持たせると共に、現在の学習が国家試験において、どのように応用され出題されるかについて意識化させるよう工夫を加えた。</p> <p>(5) 大学院教務委員として、(社)日本社会福祉教育学校連盟が提示する社会福祉学の専門カリキュラム導入及び検討を行い、社会福祉コース選考の教育カリキュラムに努めた。</p>
--	--

職務上の実績に関する事項

--

研究業績等に関する事項

《平成19年度～平成23年度》

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
(著書)			
(1) 『社会福祉学－人間福祉とその関連領域－』	共 著	学文社	2007年4月
(2) 『変わりゆく日本のスポーツ』	共 著	世界思想社	2008年3月
(3) 『障害のある人の支援と社会福祉』 (ベーシック社会福祉全5巻の4巻目)	共 著	ミネルヴァ書房	2008年3月
(4) 『社会福祉と内発的発展 －高田眞治の思想から学ぶ－』	共 著	関西学院大学出版会	2008年4月
(5) 『社会福祉の発見』	共 著	あいり出版	2009年2月
(6) 『社会福祉の理論と制度』	共 著	勁草書房	2010年1月
(7) 『アクティビティ実践とQOLの向上』 (日本福祉文化学会全3巻の2巻目)	共 著	明石出版	2010年3月
(8) 『ソーシャルワークの基盤と専門職』 (ソーシャルワーカー教育全3巻の1巻目)	共 著	みらい	2010年3月
(9) 『障害者福祉論 －障害者に対する支援と障害者自立支援制度－』	編 著	法律文化社	2010年5月
(10) 『高齢者虐待を防げ 一家庭・施設・地域での 取り組み－』	監 修 共 著	法律文化社	2011年9月
(学術論文)			
(1) 「ソーシャルワークにおけるキリスト教福祉の 意義について ～聖書に基づく人間観とスピリ チュアリティの視点より～」	単 著	日本看護福祉学会誌 第13 巻1号 日本看護福祉学 会 (33-43頁)	2007年10月
(2) 「通所介護事業所における現任教育とケアワ ーカーの能力に関する一考察－職種別実施した 意識調査の比較から－」	共 著	九州社会福祉研究 第34 号 西九州大学社会福祉 学科 (49-68頁)	2009年9月
(3) 「社会福祉士養成における相談援助実習につ いての一考察－専修学校教育を中心として－」	共 著	九州社会福祉研究 第34 号 西九州大学社会福祉 学科 (83-99頁)	2009年9月
(4) 「ソーシャルワークの教育機能における価値・ 倫理観についての一考察－生活相談員による現 任教育の事例を通して－」	共 著	キリスト教社会福祉学研 究, 第42号 日本キリス ト教社会福祉学会 125- 134頁)	2010年1月

(5) 「在宅における高齢者虐待の実情と防止に向けた対応策について」	共 著	九州社会福祉学 第6号 日本社会福祉学会九州部 会 (88-98 頁)	2010年3月
(6) 「介護支援専門員が持つ高齢者虐待に対する意識と防止に向けての課題—『高齢者虐待防止ネットワークさが』によるアンケート調査から—」	共 著	日本看護福祉学会誌 第 15巻2号 日本看護福祉 学会 (43-53 頁)	2010年3月
(7) 「介護保険施設・事業所における身体拘束の実態と廃止にむけての取り組み —『高齢者虐待防止ネットワークさが』によるアンケート調査から—」	共 著	日本看護福祉学会誌 第 15巻2号 日本看護福祉 学会 (111-123 頁)	2010年3月
(8) 「障がい者福祉・医療制度とソーシャルワーク思想に関する一考察 —措置制度と契約制度及び保険・医療法体系の視点より—」	単 著	九州社会福祉研究 第35 号 西九州大学社会福祉 学科 (1-15 頁)	2010年9月
(9) 「高齢者虐待の実態と解決にむけての課題—『高齢者虐待防止ネットワークさが』実態調査から—」	共 著	九州社会福祉研究 第35 号 西九州大学社会福祉 学科 (31-41 頁)	2010年9月
(10) 「介護サービスの改善を視点とした高齢者虐待防止策の検討 —介護従事者を対象としたアンケート調査の分析から—」	共 著	介護福祉学 第17巻2号 日本介護福祉学会 (155— 163 頁)	2010年10月
(11) 「民生委員児童委員の高齢者虐待に関する調査研究 —『高齢者虐待防止ネットワークさが』によるアンケート実態調査から—」	共 著	キリスト教社会福祉学研 究 第43号 日本キリス ト教社会福祉学会 (97-105 頁)	2011年1月
(12) 「社会福祉士養成における相談援助実習に関する考察—社会福祉士隣接領域における他専門職の実習構成概要との比較検討より—」	共 著	日本看護福祉学会誌 第 16巻2号 日本看護福祉 学会 (69-83 頁)	2011年3月
(13) 「高齢者虐待防止ネットワーク構築にむけての実践的試み—『高齢者虐待防止ネットワークさが』の取り組みから—」	共 著	九州社会福祉研究 第36 号 西九州大学社会福祉 学科 (13-29 頁)	2011年9月
(学会発表)			
(1) 「ソーシャルワークにおけるキリスト教福祉の意義～スピリチュアリティと援助観の視点～」	単 独	日本キリスト教社会福祉 学会第48回大会 (於：西南学院大学)	2007年6月
(2) 「ソーシャルワーク実践事例の多角的分析による固有性の可視化と存在価値の実証研究 (3)～データ特性の定量的分析結果を中心として～」	共 同	日本社会福祉学会第55回 全国大会 (於：大阪市立大学)	2007年9月
(3) 「ソーシャルワーク実践事例の多角的分析による固有性の可視化と存在価値の実証研究 (4)～ソーシャルワークの価値と視点・対象認識の相補関係を軸として～」	共 同	日本社会福祉学会第55回 全国大会 (於：大阪市立大学)	2007年9月
(4) 「ソーシャルワーク実践の7次元総合体モデルの検証～ソーシャルワークの成立基準の検討～」	共 同	日本社会福祉学会九州部 会第48回 (於：大分大学)	2007年12月
(5) 「キリスト教社会福祉の独自性に関する一考察—日本キリスト教社会福祉学会員の意識の視点より—」	単 独	日本社会福祉実践理論学 会第25回大会 (関西学院大学)	2008年6月
(6) 「ソーシャルワーク実践事例の多角的分析による固有性の可視化と存在価値の実証研究 (6) —ソーシャルワークの成立像の12事例分析から—」	共 同	日本社会福祉学会第56回 全国大会 (岡山県立大学)	2008年10月

(7) 「高田理論における社会福祉内発的發展論における考察ーキリスト教社会福祉の価値と思想の視点よりー」	単 独	日本福祉図書文献学会第11回全国大会 (長崎ウエスレヤン大学)	2008年10月
(8) 「キリスト教社会福祉の固有性に関する一考察」	単 独	日本社会福祉学会 九州部会第49回研究大会 (長崎国際大学)	2008年12月
(9) 「社会福祉施設における現任教育に関する一考察ー現任教育を通じた人材育成を中心としてー」	共 同	日本社会福祉学会 九州部会第49回研究大会 (長崎国際大学)	2008年12月
(10) 「ブックスタートにおける保護者の意識に関する一考察ー絵本に関する効果の視点よりー」	共 同	日本社会福祉学会 九州部会第49回研究大会 (長崎国際大学)	2008年12月
(11) 「キリスト教社会福祉の独自性と使命に関する考察(1)ーキリスト教社会福祉学会員意識調査よりー」	単 独	日本キリスト教社会福祉学会第50回記念大会(ルーテル学院大学)	2009年6月
(12) 「認知症高齢者の交差分析による量的・質的評価研究(1)ー『暮らしの行為者』の視点からの哲学的アプローチー」	共 同	日本社会福祉学会 第57回全国大会 (法政大学)	2009年10月
(13) 「通所介護事業所における現任教育に関する一考察(1)ーケアワーカーと指導者の意識比較からー」	共 同	日本社会福祉学会 九州部会第50回研究大会 (沖縄大学)	2009年12月
(14) 「家族における絵本の読み聞かせに関する一考察ー佐賀市の場合ー」	共 同	日本社会福祉学会 九州部会第50回研究大会 (沖縄大学)	2009年12月
(15) 「社会福祉士養成における相談援助実習に関する一考察ー社会福祉士の養成課程と改正カリキュラムの視点よりー」	共 同	日本キリスト教社会福祉学会第51回大会 (同志社大学)	2010年6月
(16) 「援助者の信仰とキリスト教社会福祉実践」 (パネル・ディスカッション)	共 同	日本キリスト教社会福祉学会第51回大会 (同志社大学)	2010年6月
(17) 「福祉教育と社会教育の共通性に関する一考察ー歴史的変遷の視点よりー」	共 同	九州レジャー・レクリエーション学会 平成22年度大会 (九州保健福祉大学)	2011年2月
(18) 認知症高齢者へのストレングス支援に関する一考察ーソーシャルワークにおける福祉レクリエーション支援の視点よりー	共 同	九州レジャー・レクリエーション学会 平成22年度大会 (九州保健福祉大学)	2011年2月
(19) 「社会福祉援助における人間観ー井深八重によるキリスト教思想の視点よりー」	単 独	日本社会福祉学会九州部会第51回研究大会 (西九州大学)	2011年6月
(20) 「ソーシャルワーク思想に関する一考察ーキリスト教福祉実践と人格の視点よりー」	単 独	日本キリスト教社会福祉学会第51回大会 (長崎ウエスレヤン大学)	2011年6月
(その他) <報告書>			
(1) 「福岡市内の障がい者のスポーツに対する意識と活動実態に関する調査」	共 著	平成18年度福岡市市民スポーツ実態調査報告書 福岡市市民局スポーツ部 (108-124頁)	2007年10月

(2) 「福祉領域研修会報告書-APIE プロセスを使用した個別援助プログラムの作成」	単 著	大阪府レクリエーション協会課程認定校連絡会福祉領域研修会 (11-14 頁)	2008年3月
(3) 「ソーシャルワーク実践事例の多角的分析による固有性の可視化と存在価値の実証研究」	単 著	平成17年度～平成19年度科学研究費補助金(基盤研究(C))研究報告書(課題番号:17530420) (32-37 頁)	2008年3月
(4) 「ソーシャルワークにおける尊厳と倫理に関する考察ーキリスト教社会福祉援助の視点よりー」	単 著	いずみの園30周年記念誌 社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 介護保険総合ケアセンター いずみの園(18-25 頁)	2008年10月
(5) 「キリスト教社会福祉の独自性と使命ー学会員意識調査報告書ー」	編 著	日本キリスト教社会福祉学会調査研究委員会 日本キリスト教社会福祉学会(5-66 頁)	2009年3月
(6) 「地域福祉活動計画策定マニュアル」	監 修 単 著	佐賀県社会福祉協議会 (1-46 頁)	2009年3月
(7) 「福祉教育からふくしの学びへー平成20年度福祉学習支援プログラム『ふくしの学び』研究会報告書ー」	監 修 編 著	平成20年度福祉学習支援プログラム「ふくしの学び」研究会 佐賀県社会福祉協議会 (1-25 頁)	2009年3月
(8) 「ひとり親家庭等総合支援計画」	監 修 編 著	佐賀市教育委員会 こども教育部 こども課 (1-50 頁)	2009年3月
(9) 「平成21年度ひとり親家庭くらしのハンドブック」	監 修 編 著	佐賀市教育委員会 (1-44 頁)	2009年4月
(10) 「社会福祉相談援助演習の課題と展望」	共 著	社会福祉教育年報第29集(2008年度)(社)日本社会福祉教育学校連盟 (83-116 頁)	2009年5月
(11) 「佐賀県における高齢者虐待防止に関する調査報告書」	共 著	高齢者虐待防止ネットワークさが(27-71 頁)	2009年7月
(12) 「佐賀県における民生委員・児童委員の高齢者虐待防止に関する調査報告書」	単 著	高齢者虐待防止ネットワークさが(1-59 頁)	2009年7月
(13) 「平成21年度子育てサークル活動者研修事業報告書」	単 著	(財)児童育成協会 こどもの城企画研修部(22-23 頁)	2010年3月
(14) 「キリスト教福祉における社会福祉援助の価値に関する調査研究」	単 著	平成18年度～平成21年度科学研究費補助金(基盤研究(C))研究報告書(課題番号:18530472)	2010年3月
<書評> (1) 『井深八重の生涯に学ぶ“ほんとうの幸福”とは何か』中村剛著 あいり出版	単 著	月刊福祉[第92巻第13号]2009年12月号 全国社会福祉協議会(98 頁)	2009年12月

<p><資料></p> <p>(1) 「平成 19 年度 社会福祉士全国統一模擬試験出題と解説」</p> <p>(2) 「暮らしと憲法, 障害者福祉—地域社会とネット構築—」</p> <p>(3) 「平成 23 年度社会福祉士全国統一模擬試験 (出題と解答・解説)」</p> <p><辞書等></p> <p>(1) 『高齢者施設用語辞典』</p> <p>(2) 『福祉小六法』 (2009 年版)</p> <p>(3) 『福祉小六法』 (2010 年版)</p> <p>(4) 『福祉小六法』 (2011 年版)</p>	<p>共 著</p> <p>単 著</p> <p>共 著</p> <p>共 著</p> <p>編 集</p> <p>編 集</p> <p>編 集</p>	<p>(社) 日本社会福祉士養成校協会 (20-27 頁)、(83-87 頁)</p> <p>佐賀新聞社朝刊 「論説: 揺らぎの中で—憲法特集—」</p> <p>(社) 日本社会福祉士養成校協会, 中央法規出版</p> <p>中央法規出版</p> <p>みらい</p> <p>みらい</p> <p>みらい</p>	<p>2007 年 6 月</p> <p>2009 年 5 月</p> <p>2011 年 10 月</p> <p>2007 年 4 月</p> <p>2009 年 4 月</p> <p>2010 年 4 月</p> <p>2011 年 4 月</p>
<p>研究助成等</p>	<p>(1) 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 18 年度 (2006 年度) ~平成 21 年度 (2009 年度) 「キリスト教福祉における社会福祉援助の価値に関する調査研究」 (課題番号: 18530472) (研究者代表 滝口真・西九州大学教授・単独)</p> <p>(2) 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 17 年度 (2005 年度) ~平成 19 年度 (2007 年度) 「ソーシャルワーク実践事例の多角的分析による固有性の可視化と存在価値の実証研究」 (課題番号: 17530420) 研究分担者 (研究者代表 平塚良子・大分大学教授)</p> <p>(3) 日本学術振興会学術研究費補助金基盤研究 (B) 平成 19 年度 (2007 年度) ~平成 22 年度 (2010 年度) 「緩和ケアにおける『生』重視のソーシャルワーカーの支援機能に関する実証的研究」 (課題番号: 19330129) 研究分担者 (研究者代表 北川慶子・佐賀大学教授)</p> <p>(4) 永原学園教育研究基金助成 平成 19 年度 (2007 年度) 「認定校におけるレクリエーション資格取得希望者に関する意識研究」 研究分担者 (研究者代表 山田力也・西九州大学専任講師)</p> <p>(5) 永原学園教育研究基金助成、平成 19 年度 (2007 年度) 「ソーシャルワークの価値に関する調査研究」 (研究者代表 滝口真・西九州大学教授・単独)</p> <p>(6) 永原学園教育研究基金助成、平成 20 年度 (2008 年度) 「ソーシャルワークの倫理に関する調査研究」 (研究者代表 滝口真・西九州大学教授・単独)</p> <p>(7) 財団法人日本生命財団研究助成 平成 20 年度 (2008 年度) ~平成 21 年度 (2009 年度) 「認知症高齢者の社会関係の交差分析による量的・質的評価研究—『暮らしの行為者』の視点からの哲学的アプローチ—」 研究分担者 (研究代表者 平塚良子・大分大学大学院教授)</p> <p>(8) 日本私立学校振興・共済事業団 学術研究振興基金 平成 20 年度 (2008 年度) ~平成 22 年度 (2010 年度) 「高齢者虐待防止ネットワークの構築『予防』『発見』『解決』システムの開発」 研究分担者 (研究代表者 倉田康路・西九州大学教授)</p> <p>(9) 永原学園教育研究基金助成平成、21 年度 (2009 年度) 「ソーシャルワークの価値と倫理観に関する調査研究」 (研究者代表 滝口真・西九州大学教授・単独)</p> <p>(10) 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B) 平成 21 年度 (2009 年度) 「ソーシャルワークの 7 次元総合体に基づく多面的 多角的実践分析モデルの開発」 (課題番号 21330132) 研究分担者 (研究代表者 平塚良子・大分大学大学院教授)</p>		
<p>学会及び社会における活動等</p>			

(1) 学会活動 (所属学会)

日本社会福祉学会会員 (代議員、2010年～現在; 学会誌「社会福祉学」査読委員、2012年～現在)、日本キリスト教社会福祉学会会員 (理事、2008年～2011年; 任理事、2011年～現在; 調査研究委員会委員、2006年～2011年; 調査研究委員長、2011年～現在)、日本看護福祉学会会員 (評議員、1997年～2005年; 理事、2005年～現在; 選挙管理・編集委員会副委員長、2011年～現在; 学会誌「日本看護福祉学会誌」査読委員、2002年～現在、)、社会学系コンソーシアム (評議員、2009年～現在; 「世界へのメッセージ」編集委員会委員)、日本福祉図書文献学会会員 (理事、1999年～2010年; 九州沖縄支部長、1999年～2010年; 学会誌「福祉図書文献研究」査読委員、2003年～2010年)、日本レジャー・レクリエーション学会会員 (理事、2008年～2010年)、九州・レジャー・レクリエーション学会 (理事、1995年～現在、学会誌「九州レジャー・レクリエーション研究」査読委員、2010年～現在)、日本ソーシャルワーク学会、日本地域福祉学会会員、日本社会事業史学会会員、日本福祉文化学会会員、日本介護福祉学会会員

(2) 社会的活動

佐賀県レクリエーション協会理事 (1997年～2007年)
佐賀県ボランティアセンター運営委員会委員 (佐賀県社会福祉協議会、1998年～現在)
社会福祉法人佐賀キリスト教事業団評議員 (1999年～現在)
社会福祉法人かささぎ福祉会苦情解決第三者委員 (2001年～現在)
社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 (評議員、2001年～現在)
社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 (理事、2001年～現在)
社会福祉法人聖母の騎士会評議員 (2002年～現在)
社会福祉法人光の子福祉会評議員 (2003年～現在)
社会福祉法人かささぎ福祉会評議員 (2004年～現在)
佐賀県障害者フライングディスク協会監事 (2004年～2010年)
佐賀県江北町総合福祉計画策定アドバイザー (江北町、2005年～2006年)
佐賀県江北町総合福祉計画策定委員会委員 (江北町、2005年～2006年)
佐賀県キャンプ協会理事 (2005年～2010年)
認知症グループホーム外部評価審査委員会委員 (佐賀県社会福祉協議会、2005年～現在)
福岡市市民スポーツ調査委員会委員 (福岡市、2006年～2007年)
(社) 日本社会福祉士養成校協会九州ブロック運営委員長 (2006年～2009年)
社会福祉法人佐賀キリスト教事業団理事 (2006年～現在)
佐賀県民災害ボランティアセンター運営委員 (佐賀県社会福祉協議会、2006年～現在)
佐賀県地域福祉支援計画推進委員会副委員長 (佐賀県、2007年～現在)
さが福祉サービス評価機関評価決定委員 (佐賀市社会福祉協議会、2007年～現在)
佐賀県母子福祉センター指定管理者候補選定委員会委員長 (佐賀県、2008年)
佐賀市立母子生活支援施設指定管理者審査委員会委員長 (佐賀市教育委員会、2008年)
佐賀市ひとり親家庭等総合支援計画検討委員会委員長 (佐賀市教育委員会、2008年～2009年)
社会福祉法人九州キリスト教事業団九州キリスト教社会福祉研究所所員 (2008年～現在)
福祉学習支援プログラム「ふくしの学び」研究会委員委員長 (佐賀県社会福祉協議会 2008年～現在)
佐賀市ボランティアセンター運営委員会委員長 (佐賀市社会福祉協議会、2008年～2012年)
特定非営利活動法人とす市民活動ネットワーク理事 (2009年～2010年)
佐賀県地域福祉活動計画策定検討会委員長 (佐賀県社会福祉協議会、2009年～現在)
高齢者虐待防止ネットワークさが運営委員会副代表 (2009年～現在)
社会学系コンソーシアム (国内約30学協会によるコンソーシアム学術組織) 評議員 (2009年～現在)
佐賀県健康福祉本部指定管理者候補選定委員会委員長 (勤労身体障害者教養文化体育館部会)
(佐賀県、2010年)
佐賀県ひとり親家庭等在宅就業支援事業企画提案審査委員会委員長 (佐賀県、2010年～現在)
佐賀県ひとり親家庭等在宅就業支援委員会委員長 (佐賀県、2010年～現在)
佐賀県江北町総合福祉計画策定委員会委員 (江北町、2010年～現在)
佐賀市立母子生活支援施設指定管理者審査委員会委員長 (佐賀市教育委員会、2011年～現在)
佐賀県ひとり親家庭等在宅就業支援事業 (第3期) 企画提案審査員 (佐賀県 2011年～現在)
第12回全国障害者芸術・文化祭さが大会実行委員会委員 (佐賀県、2011年～現在)
佐賀県障害者施策推進協議会会長 (佐賀県、2011年～現在)